



令和6年7月3日

農学部と工学部の選抜内容を大きく変更します ～ 令和7年度入学者選抜要項を公表 ～

令和7年度より、農学部の改組および工学部のプログラム名称変更等により、両学部の選抜内容を大きく変更することから、下記のとおり、記者説明会を実施させていただくこととしましたので御案内させていただきます。

農学部では、一つの専門分野を核としつつ、多様な農学知識のほか、情報技術や国際情勢などの幅広い知識を有するこれからの時代に求められる「実践型ジェネラリティをもったスペシャリストの養成」を目指し、従来の1学部6学科から1学部2学科(農学科、獣医学科)に改組し、農学科に4つの専門コース(動植物資源生命科学、森林環境持続性科学、海洋生命科学、応用生命化学)を設置します。

工学部では、本学の強み特色である「生命・環境・エネルギー・食・共生」分野に関係する多様な研究を推進しており、その基盤となる教育を行っています。卒業生がどのような力を身に着けるのかを高校生・保護者、ならびに企業等にわかりやすく伝えるため、プログラムの名称をそれぞれ変更します。

それに伴い、農学部では獣医学科に共通テストを課す学校推薦型選抜(地域枠)、工学部では学校推薦型選抜として「宮崎県就職希望枠」、「女子枠」、「一般枠」を新たに導入するなど選抜内容を大きく変更します。

宮崎大学では、時代のニーズに合わせた人材育成を行い、地域社会に貢献していく所存であり、この度の変更点一人でも多くの受験生とその保護者の皆様方にお届けしたいと考えております。

つきましては、取材について検討していただきますようお願い申し上げます。

記

○日時：令和6年7月5日(金) 13:30 - 14:30

○形式：対面式とZoomによるオンライン形式での説明

○場所：宮崎大学地域デザイン棟(木花キャンパス)

○その他：参加いただける場合は企画総務部総務広報課にメールにて申し込み下さい。

令和7年度入学者選抜要項は、7月5日(金)に公表を予定しています。

ポイント(主な変更点)

■ 農学部(別紙)

- ① 6学科から2学科(農学科・獣医学科)へ。農学科はコース制になり、4コース(動植物資源生命科学コース・森林環境持続性科学コース・海洋生命科学コース・応用生命化学コース)を設置
- ② 獣医学科では、共通テストを課す学校推薦型選抜(地域枠)を新設
- ③ 農学科では、共通テストを課す総合型選抜(一般枠)の新設
- ④ 一部コースでは、専門学科等の生徒を対象とした学校推薦型選抜を実施

■ 工学部(別紙)

- ① プログラム名称を変更(化学生命プログラム・土木環境プログラム・半導体サイエンスプログラム・電気電子システムプログラム・機械知能プログラム・情報通信プログラム)
- ② 学校推薦型選抜「宮崎県就職希望枠」、「女子枠」、「一般枠」を新設

① 問い合わせ先：入試課入試実施係

TEL：0985-58-7977

E-mail：nyushi-k@of.miyazaki-u.ac.jp

② 発信元・申込先：総務広報課広報係

TEL：0985-58-7114

E-mail：kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp



2025年4月 宮崎大学農学部が 変わります!



農学部は6学科から2学科へ
幅広い農学の学びをみなさんへ

これまでの農学部
(2024年まで)

- 畜産草地科学科
- 植物生産環境科学科
- 森林緑地環境科学科
- 海洋生物環境学科
- 応用生物科学科
- 獣医学科



新しい農学部

- 農学科
 - ・ 動植物資源生命科学コース
 - ・ 森林環境持続性科学コース
 - ・ 海洋生命科学コース
 - ・ 応用生命化学コース
- 獣医学科

“幅広い農学の知識を持ち、自分の専門とする 農学分野に挑戦していける人材を育てます”

学びの特徴

- ☑ 1年次に農学分野を幅広く学ぶことができる講義を開講します。
- ☑ 情報技術に対応できるようにデータサイエンス科目・実習を充実します。
- ☑ 教員免許状(農業・理科・水産)や学芸員などさまざまな資格取得ができます。
- ☑ カリキュラムを一新し、草地畜産分野と植物生産分野を融合・発展した動植物資源生命科学コースを始め、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース、応用生命化学コースからなる農学科が新たに誕生します。

入試も新しく!

- ☑ 共通テストを課す総合型選抜を新設します。(農学科)
- ☑ 共通テストを課さない総合型選抜も実施します。(農学科)
- ☑ 専門学科等の生徒を対象とした学校推薦型選抜を実施します。
(動植物資源生命科学コース、海洋生命科学コースのみ)
- ☑ 共通テストを課す学校推薦型選抜(地域枠)を新設します。(獣医学科)
(卒業後、宮崎県職員の獣医師として一定期間勤務する必要があります。)

| 名称 | 入学定員 | 一般選抜 | | | | 学校推薦型選抜 | | 総合型選抜 | | |
|------|------|------|------|----------|------|---------|-----|-----------|------|---|
| | | 前期日程 | | 後期日程 | | A | B | 大学入学共通テスト | | |
| | | 募集人員 | 目安定員 | 募集人員 | 目安定員 | 専門学科等 | 普通科 | 課す | 課さない | |
| 農学科 | 235 | 109 | 50 | 43 | 15 | 7 | | 8 | 12 | 8 |
| | | | | | | 内訳 | | | | |
| | | | | | | 畜産 | 農業 | 7 | 5 | 3 |
| | | | | | | 4 | 3 | | | |
| 2 | — | 14 | 4 | | | | | | | |
| | | 24 | 8 | — | — | 3 | 10 | | | |
| 獣医学科 | 30 | 20 | 10 | 地域枠(上限2) | | — | — | | | |
| 合計 | 265 | 129 | 53 | 24 | | 34 | 25 | | | |

※括弧内の数字は各コースの目安定員を示します。



工学部

令和7年度から

変わる！プログラム名称と入試

各プログラムの名称及び入試方法を変更します

変更前
令和6年度まで

| 名称 | 募集人員 | 一般選抜 | | 総合型選抜 |
|-------------|------|------|------|-------|
| | | 前期日程 | 後期日程 | |
| 応用物質化学プログラム | 370 | 240 | 90 | 6 |
| 土木環境工学プログラム | | | | 7 |
| 応用物理工学プログラム | | | | 5 |
| 電気電子工学プログラム | | | | 5 |
| 機械知能工学プログラム | | | | 8 |
| 情報通信工学プログラム | | | | 9 |
| 合計 | 370 | 240 | 90 | 40 |

変更後
令和7年度から

| 名称 | 募集人員 | 一般選抜 | | 総合型選抜 | 学校推薦型選抜 |
|---------------|------|------|------|-------|---------|
| | | 前期日程 | 後期日程 | | |
| 化学生命プログラム | 370 | 200 | 93 | 2 | 9 |
| 土木環境プログラム | | | | 2 | 13 |
| 半導体サイエンスプログラム | | | | 2 | 9 |
| 電気電子システムプログラム | | | | 2 | 10 |
| 機械知能プログラム | | | | 2 | 12 |
| 情報通信プログラム | | | | 2 | 12 |
| 合計 | 370 | 200 | 93 | 12 | 65 |

「学校推薦型選抜」の導入

全プログラムにおいて、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜として、**宮崎県就職希望枠（普通科区分・専門学科・総合学科区分）、女子枠、一般枠**を実施します。

【宮崎県就職希望枠（普通科区分/専門学科・総合学科区分）】

宮崎県で活躍する工学人材の育成を目的として、入学後は専門教育のみならず地域の抱える課題等について学び、将来宮崎県内に就職し工学人材として地域の発展に貢献する意欲のある生徒を学校推薦により募集します。

また、職業教育を主とする学科の高校生の中には、教育課程の違いから大学進学を躊躇する学生も少なくありません。そこで、学習背景が異なる多様な人材を受け入れることを目的として、普通科区分と専門学科・総合学科区分に分けて募集人員を設定します。

選抜試験では、教育課程の違いを踏まえ、小論文を課し、出願書類、筆記試験(数学)および面接と併せて評価し、他の入試枠とは区別して合否を判定します。

【女子枠】

多様な視点による産業の発展及び生産性の向上には工学分野における女性比率の増加が必要と考えられており、男女共同参画社会基本法における積極的改善措置の考えに基づき、将来工学人材として活躍する意欲のある女子生徒を学校推薦により募集します。

選抜試験では、小論文を課し、出願書類、筆記試験(数学)および面接と併せて評価し、他の入試枠とは区別して合否を判定します。